

## スポーツに関わるようになつたきっかけ

真庭スポーツ振興財団で防災を担当する前田江美さん。「スポーツも防災も、コミュニケーションが大切という共通点があるんです」と話します。

前田さんがスポーツに関わるようになつたのは、小学校3年生からスポーツ少年団で卓球を始めたことがきっかけ。子どもから高齢者まで、同じ場所で同じ種目をしているところを見て、年をとつてもこんな風にスポーツができるんだと感じたそうです。

大学を卒業し、真庭に帰つてみると、体育指導員にならないかと声がかかり、その後、総合型地域スポーツクラブの立ち上げに加わったそうです。平成15年にスポーツ・レクリエーション倶楽部ぐせ(スポ

# 真

M A N I W A B I T O

# 庭

# 人

## スポーツ団体が防災を

あるとき、宮城県のスポーツクラブ事務局員から、東日本大震災のときに、体育館やクラブがどんな状況だったのか、どんなことをしたのか、話を聞く機会がありました。それ以来、「クラブ運営をしている自分がいました。それ以来、「クラブ運営を支えてくれるようになったそうです。

「なんだ」と考えるようになったそうです。そのようにときに、自主防災組織の設置推進・育成強化を行う団体の公募があり、スポーツくじが手を挙げました。

防災の出前講座を始めて6年。さまざまな地域や団体などから相談を受けたり、ニーズに合わせた出前講座を行っています。「そもそも自主防災組織はどういったもののか分からぬといふ声もあります。そのような場合も出前講座、行きますよ」と話してくれました。

# 前田 江美 Maeda Emi

持出品や備蓄品の準備と逃げるタイミングの確認を



前田 江美さん(惣)

久世出身。  
小学生から卓球を始めたことをきっかけにスポーツに関わるように。大学卒業後、スポーツ事務局員になり、現在は真庭スポーツ振興財団で防災を担当。

いまにわびと

# 32

2022

